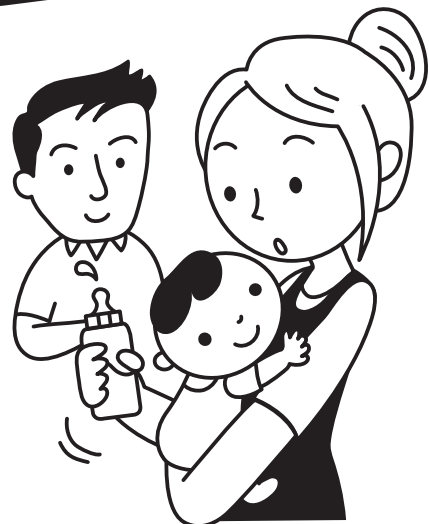


# 「安心して子育てをしたい！」

総合的な子育て支援を実現します

「子育てにお金がかかりすぎる」「保育所に入れない」「出産で仕事をあきらめた」……だれもが感じる子育てのつらさは——。「子育て大変」の社会から、「安心して子育てできる」社会へ、国の責任で、総合的な子育て支援をすすめます。



## 1 子育て・教育の経済的負担を軽くします

- 保育所・幼稚園の保育料を値下げします
- 世界的に教育は無償です。「世界一高い学費」の負担を軽くします。返済不要の奨学金をつくります。私学をふくめ高校教育の無償化をすすめます

## 2 認可保育所をつくり、待機児童をなくします

- 1年10万人分、当面3年で30万人分の認可保育所をつくります
- “詰め込み”保育を改善し、非正規保育士の正規化をすすめます。無認可保育所に助成します
- 学童保育を増やします。施設・設備の改善、指導員の待遇改善、父母負担を軽減します。設置・運営基準をつくり国の予算を増額します

## 3 不安定・長時間の働き方を改善します

- 正社員があたり前、非正規雇用を正規雇用にします
- サービス残業をなくし、労働時間を短縮します
- 妊娠・出産などを理由にした解雇、不利益取り扱いをやめさせます

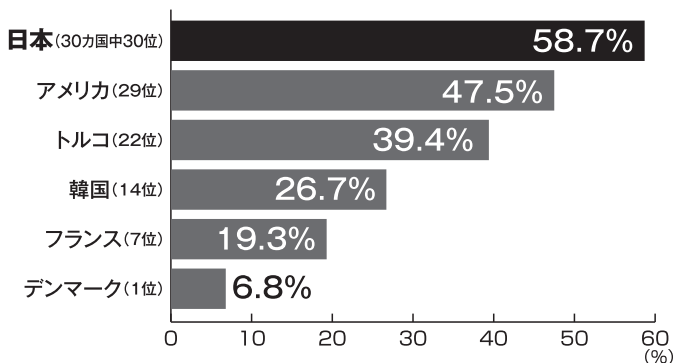
## 4 子ども医療費を無料にします

- 国の制度で子どもの医療費を無料にします
- 産科・小児救急医療を国の責任で拡充します
- 妊婦健診や出産費用の負担を軽減・無料化します

## “子どもの貧困”をなくします

“雇用破壊”による収入減、ひとり親の家庭の生活難…政治がつくった貧困から子どもたちを守るために力をつくします。

日本のひとり親世帯の貧困率は先進国最悪



- 児童扶養手当の増額、就学援助制度の拡充
- 虐待から子どもを守る相談・支援体制の充実
- 児童福祉施設の拡充、職員配置や施設の改善

日本共産党

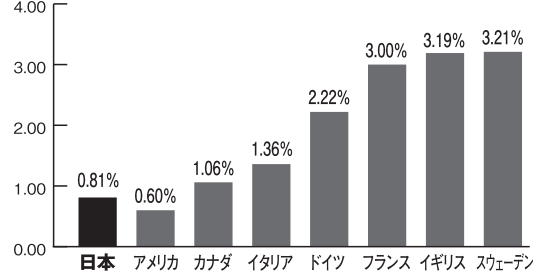
# “子育ては女性も、男性もいっしょに” 世界の基準は“国と社会で子育てを支える”

**日本共産党**

世界の“当たり前”を、  
日本でも実現します

	ヨーロッパでは	日本では
働きかた	有給休暇は最低4週間、短い労働時間。フランスでは週35時間労働	子育て世代の男性の4人に1人は週60時間働いている
教育費	多くが高校、大学とも無料。有料のところもベルギー5.7万、フランス2.7万円と低額	世界一の高学費、私立大131万、国立大82万円(初年度納付金)
出産・医療費	出産費用も含めて基本的に医療費は無料	出産費用の助成はあるがそれ以上の負担あり。健康保険で就学前の子どもは2割負担

日本の子育て関係の給付・支出は先進国最低レベル  
(各国の家族関係給付のGDP比・2005年)



## 民主党は“子育て支援充実”というけれど…

“つめこみ”保育をすすめ、国の責任をなくす  
保育制度に変えようとしています

「待機児童をなくして」「よい保育を」が父母の願いです。ところが民主党政権は、保育所の国基準を廃止して、子どもの“つめこみ”をいっそうすすめようとしています。また“待機児童をなくすため”として、保育に対する国の責任を後退させ、自治体まかせ、営利企業だのみの保育制度に変える方針をうちだしています。

「子どもの昼寝に敷布団が必要か？  
床に直接寝かせればいい」(長妻厚労大臣「毎日」5/23)

**消費税10%  
への大増税**

**1世帯16万円**

実は大企業の  
法人税減税とセット

消費税増税による新財源 → **11兆円**

子育て世帯のくらしがたいへんな時に、消費税大増税は許せません。しかも増税の本当のねらいは、大企業減税の穴埋めです。

← **9兆円** ← 法人税減税 (-15%)分

**日本共産党**

思いやり予算など、軍事費のごく一部をまわせば、  
年間10万人分の認可保育所もつくれます。

**4000億円**

- 10万人分の認可保育所建設
- 保育料を3割引き下げ
- 保育士の正規化など



**3370億円**

米軍再編・  
思いやり予算



年間5兆円の軍事費やムダな大型開発、大企業・大金持ち減税をただせば、子育てや社会保障の財源はつくれます。